ＩＳＧフェスタ

今年度の ISG フェスタは、工大祭 2 日目の 2026 年 10 月 11 日（日）10:00～15:00、九州工業大学飯塚キャンパスで開催されました。技術部は研究棟 2 階の E218・E219 室にて 2 件出展し、延べ 100 名余りの来場者がありました。下記に各テーマの出展内容等をご報告いたします。

●生成 AI を使って動画を作ってみよう！（会場：E218 室、担当：本田、戸野本）

FramePack-eichi を活用した動画生成と、Seed-VC を活用した音声変換の体験コーナーを設け、多くの方に生成 AI の面白さや可能性を体感していただきました。



AI ツールを用いた動画生成

動画生成では、参加者自身に好きな静止画を選んでいただき、その画像をどのように動かしたいか、生成 AI に文章で指示を与えて動画を作成する体験をしていただきました。静止画だった人物や風景が実際に動き出すと、驚きの声や笑顔が見られ、生成 AI ならではの楽しさを感じていただけました。また、指示する文章の表現によって動画の仕上がりが変わるため、思い描いた映像を作ろうと試行錯誤する姿も見られました。思いどおりにいかない難しさも含め、文章の工夫によって映像が変化する面白さを楽しんでいただくことができました。


動画生成体験の様子

音声変換では、わずか 10 秒ほどの音声から自分の声を別人の声へ変換する体験をしていただきました。声がまったく違う声に変わる不思議さと面白さに、多くの参加者が驚きと笑顔を見せてくださいました。

●顕微鏡を作ってミクロの世界を見てみよう！（会場：E219 室、担当：月原、広瀬）

球状のガラス玉をレンズとして用いた簡易顕微鏡による観察体験を実施しました。まず、直径約 2 mm のガラス玉を使用し、玉ねぎの表皮細胞を観察しました。参加された方には、肉眼では見えない細胞の形や並び方を拡大して観察していただきました。

一方で、直径約 2 mm のレンズは視野が非常に狭いため、像を捉えにくいという課題がありました。そこで、直径約 20 mm の球状レンズを用意し、皮膚表面の「キメ」（角質層表面の網目模様）を観察していただきました。倍率は下がるものの視野が広く扱いやすいため、身近な皮膚の微細な構造を手軽に観察する体験を提供できました。


観察体験の様子１


観察体験の様子２